

4 来い(鯉)と呼ぶ猪名部の春

(東員駅周辺)

コース 約7K 3時間

東員駅→六把野駅跡→山田毘沙門→水神橋→東員町郷土資料館→
鯉の泳ぐ遊歩道→一色正芳の墓→大社橋→幽静館→北社学校跡→
猪名部神社→ミニチュアカー・ミュージアム→北大社車庫→東員駅



4 来い(鯉)と呼ぶよ猪名部の春 (東員駅周辺探訪)

① 山田の毘沙門さん

員弁寺の別院である法明寺の毘沙門堂にあったが、天正元年（1573）の織田信長北勢攻めの時に兵火にあい、焼失寸前に村民の手で運び出されたと伝えられる。

② 東員町郷土資料館

三和小学校（旧大長尋常高等小学校）の旧校舎を利用して昭和51年に開館。郷土の生んだ名優・7世松本幸四郎を記念する「歌舞伎公園」が隣接。

③ 南大社の家並

南大社は東西・南北の道路が交差する交通の要所であって、明治初年には員弁郡で最初の郵便局・警察署・郡役所が設けられた。そして呉服屋・鍛冶屋・菓子屋・宿屋・散髪屋などが軒を並べていた。今でもその風情が感じられる。

④ 鯉の泳ぐ遊歩路

南大社を流れる用水（山神川）約1^{キロ}にわたり、大小さまざまな鯉が群泳している景色は壮観です。環境保護と観光目的で鯉の放養を始め、地元の人たちが守り、育てている。

⑤ 一色正芳の墓

南大社の庄屋・一色正芳（1747－1821）は農家の子どもたちに農閑期に珠算を教えた。百日間稽古すれば一人前になれるといわれ、「正芳流百日算」といわれた。

⑥ 大社橋

現在の橋は平成5年に架け替えられた橋。南大社の宮橋・馬橋ともに擬宝のついた朱欄干のある三つの橋が猪名部神社の参道の橋として架設されている。

⑦ 猪名部神社

員弁地方を開発した猪名部氏の祖神を祀った神社で員弁地方を代表する神社。境内には数基の古墳があったと伝えられるが、現在は1基のみが残されている。例大祭は4月第1土日で、上げ馬神事と流鏝馬神事が行なわれ、鎌倉時代から始ったと伝えられている。

⑧ 北社小学校跡

明治9年の伊勢暴動で被害を受けた北社学校の校舎を、同12年に木村誓太郎が個人で猪名部神社境内に建てた。その跡地に現在は北大社区民館が建っている。

⑨ 幽静館（木村記念館）

木村家は江戸時代は大庄屋であり、明治からも誓太郎・秀興・俊夫と三代にわたり国会議員を出した家柄です。その屋敷跡に建てられ、木村家に関する資料を展示している。

開館日 土・日・祝

（その他の日は要予約）

（火・年末年始 休館）

開館時間 9：00～16：00

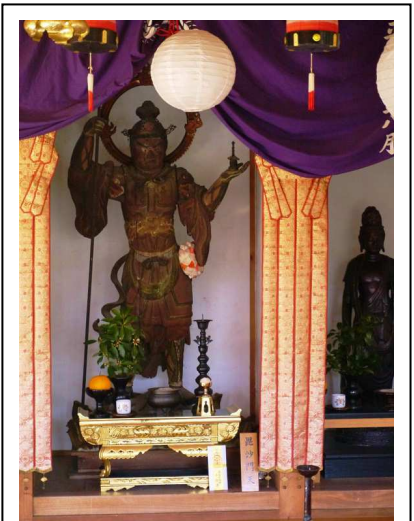
⑩ ミニチュアカー・

ミュージアム

外国製のクラシックカーなどミニチュアカーがところ狭しと展示され、圧巻です。

⑪ 北大社車庫

北大社駅は、平成17年3月に廃駅となって北大社信号場となったが、車庫は変電所と共に残された。現在、車庫の中では車両検査や月検査が行われている。



山田の毘沙門さん